

ばんせい 活動プログラム集

2025年4月改訂

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立磐梯青少年交流の家

<活動プログラム一覧表>

	活動プログラム名	活動時期	所要時間 (目安)	研修指導員 依頼 (※1)	指導料金 (※2)
登山	①八方台往復コース	6月～9月	8時間	○	18,000円
	②猪苗代スキー場～八方台登山口コース (※3)	7月～10月	7時間	○	18,000円
	③猪苗代スキー場往復コース (※3)	7月～10月	4時間	○	18,000円
ハイキング	④五色沼探勝路ハイキング	5月～10月	4時間	○	11,200円
	⑤天鏡台ハイキング		3時間		
	⑥ナイトハイキング【ショート】 ナイトハイキング【ロング】	5月～ 11月第1週	30分 1時間		
オリエン テーリング	⑦スコアオリエンテーリング	5月～ 11月第1週	2～3.5 時間		
	⑧樹木オリエンテーリング		1.5～2 時間		
	⑨屋外こことこオリエンテーリング		1.5～2 時間		
	⑩屋内こことこオリエンテーリング 【初級・中級】	通年 (屋内)	1.5～2 時間		
	⑪イングリッシュオリエンテーリング	通年 (屋内)	1.5～2 時間		
	⑫ばんせい探偵団	通年 (屋内)	2～3 時間		
野外炊飯	⑬野外炊飯 (カレーライス・焼肉) 昼食 10 時～、夕食 15 時～ (※7)	5月～ 11月第1週	3～4 時間		
創作活動 (※5)	⑭赤べこの絵付け	通年	1～1.5 時間		
	⑮流紋焼き (絵付け) (※4)	通年	1.5 時間		
	⑯流紋焼き (手びねり) (※4)	通年	2時間		
	⑰会津漆蒔絵	通年	1.5 時間		
セレモニー	⑱キャンプファイヤー	5月～ 11月第1週	2時間		
	⑲キャンドルファイヤー	通年	1～2 時間		
自然観察	⑳天体観察 (※5)	通年	1～2 時間	○	5,600円
冬の活動	㉑そり・スノーチューブ	1月～3月 (積雪時)	任意		
	㉒スノーシューハイキング 【ショート (施設内、施設周辺)】 【ロング (五色沼など)】		2～3時間 3～6時間	○	※6
	㉓雪遊び		任意		
ニュー スポーツ	㉔ボッチャ	通年 (屋内)	任意	交流の家職員に よる説明 (17:00 まで)	無料

<注意事項>

- ※1 ○は研修指導員依頼可能な活動です。研修指導員の依頼は10名以上の団体に限ります。
- ※2 研修指導員1人の料金です。登山と五色沼探勝路ハイキング、天体観察は1回当たりの料金です。
- ※3 20名以上で実施可能です。

登山用リフトを利用するため、登山出発時刻等に制限が生じます。

実施する場合は交流の家へお問い合わせください。

リフト料金は以下をご参考ください。(令和6年6月現在)

なお、同行する研修指導員はリフト代が不要です。

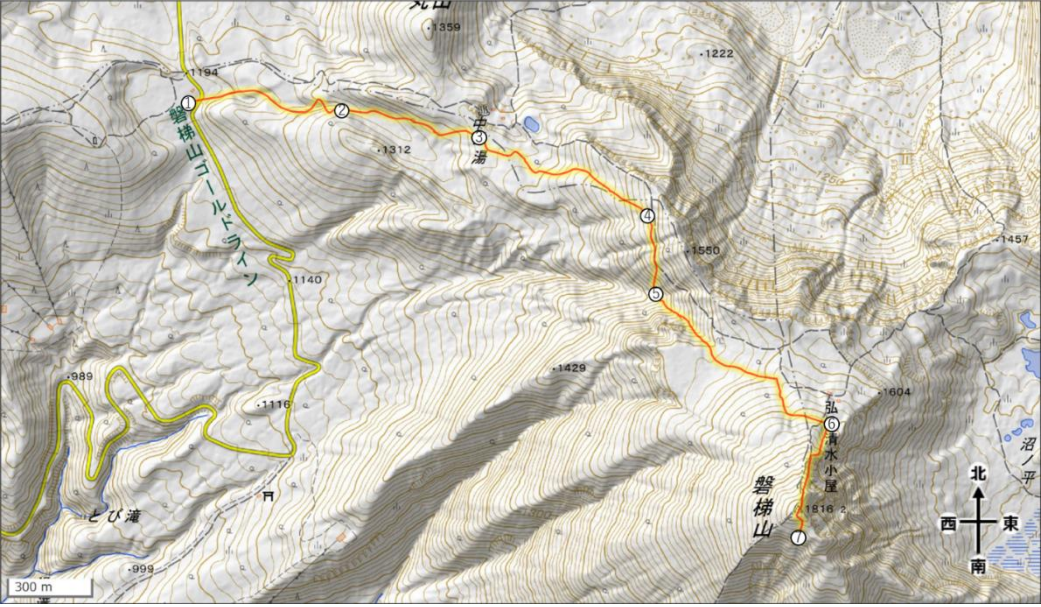
	小学生	中学生以上
②磐梯山登山 猪苗代スキー場～八方台登山口コース (リフトを往路のみ利用)	1,200 円	1,600 円
③磐梯山登山 猪苗代スキー場往復コース (リフトを往復で利用)	2,400 円	3,200 円

- ※4 ⑮⑯のプログラムは20名以上で実施する団体に限ります。
- ※5 研修指導員が手配できない場合は、望遠鏡の貸出しのみとなります。
- ※6 研修指導員1人当たり【ショート 8,400 円】【ロング 16,800 円】です。
- ※7 野外炊飯(夕食)については、中学生～大学生までの教育活動に則った団体のみ対象となります。
- ※8 震災講話については講師の都合により、現在は休止となっております。

①磐梯山登山（八方台登山口往復コース）

（活動時間の目安：約8時間）



概要	山頂の高さが 1800m でスタート地点の八方台登山口の標高が 1200m なので、山頂との標高差は約 600m の高低差が少ないコースです。晴天時には山頂から猪苗代湖が一望できます。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むとともに、心身の健康を図ります。			
条件	対象	小学5年生～	人数	制限はないが1クラスに1名の引率者が必要
	時期	6月～9月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図・登山マップ <input type="checkbox"/> 方位磁針 <input type="checkbox"/> トランシーバー（研修指導員用）		<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 登山計画書 <input type="checkbox"/> 非常時用簡易トイレ <input type="checkbox"/> 非常用水・非常食 <input type="checkbox"/> 携帯電話・時計	<input type="checkbox"/> デイパック <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 水筒（水1ℓ以上） <input type="checkbox"/> 雨具
登山ルート	 <p>本地図は、地理院地図を加筆・修正して作成しました。</p> <p>①八方台登山口（登山ポストがある） ②広い尾根（休憩箇所） ③中の湯（火山性ガスが出ているので長居しない） ④桧原湖展望台（休憩箇所） ⑤鎖場（くさりば：崖に注意） ⑥弘法清水（こうぼうしみず）（休憩箇所・山小屋と簡易トイレ有り） ⑦磐梯山山頂（休憩箇所）</p>			

引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定をします。 ・交流の家に下記4地点で連絡を行います。 (登山前の八方台登山口・弘法清水小屋・頂上・下山後の八方台登山口)
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。 (学校では担任が一般的)
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。
	本部係	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下山者対応に備えます。
研修指導員の役割		<ul style="list-style-type: none"> ・活動当日の朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。 ・登山口で参加者に安全面についての説明をします。 ・活動中は道案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。 ・下山後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。
交流の家職員の役割		<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出しや回収を行います。 ・団体責任者からの連絡を受け取ります。 ・当日の朝の打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。
引率者確認事項		<p>【施設入所前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山ルートと時間配分の確認をします。登山日の活動をゆとりのある計画にしてください。 ・入所40日前までに指導員依頼(活動日程表の提出)をします。目安は1クラスに対して指導員1名となります。 ・登山当日までに日程・登山形態(安全管理・留意事項欄参照)を計画して登山計画書(届)を2部作成します。(登山ポスト又は猪苗代警察署用に1部、交流の家用に1部) ・事前に役割分担や参加者への指導(安全指導、装備確認)などを行います。 ・活動日の天候等により登山を中止する場合は登山前日の16時までに交流の家に連絡をします。 <p>【施設入所後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の家に登山計画書(届)を1部提出します。 ・登山時の持ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文した場合は、受け渡し場所や時刻も確認します。

引率者確認
事項

【登山当日～登山口到着】

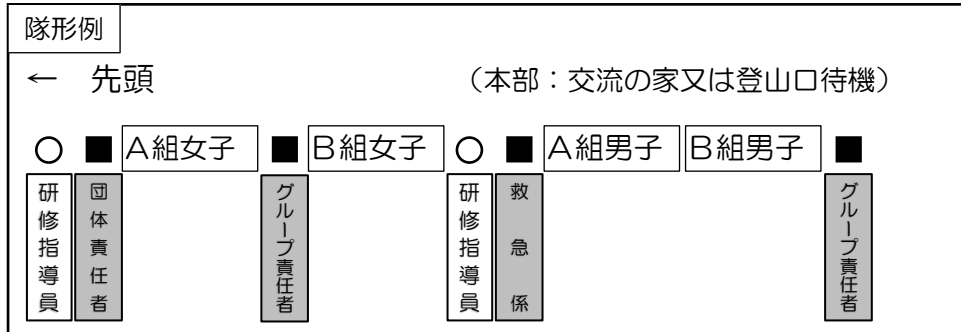
- ・団体責任者は研修指導員と7時45分に事務室にて実施の判断をします。登山判断基準は下記表のとおりです。実施決定後に打合せを行います。
- ・判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止としています。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。

警報または 注意報	大雨	強風	雷
	大雪	暴風	噴火
降水量	5mm/h 以上		
風 速	10m/s 以上		
その他	著しく気象の変化がある		
	利用者からの中止の申し入れ		
	交流の家として中止と判断したとき		

- ・団体と研修指導員は団体の車両で八方台登山口に移動します。
- ・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。
- ・グループ責任者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明（主に安全面について）を参加者と一緒に聞きます。

【登山中】

- ・登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名（団体責任者）～中継1名以上～後尾1名としてください。（下記例参照）



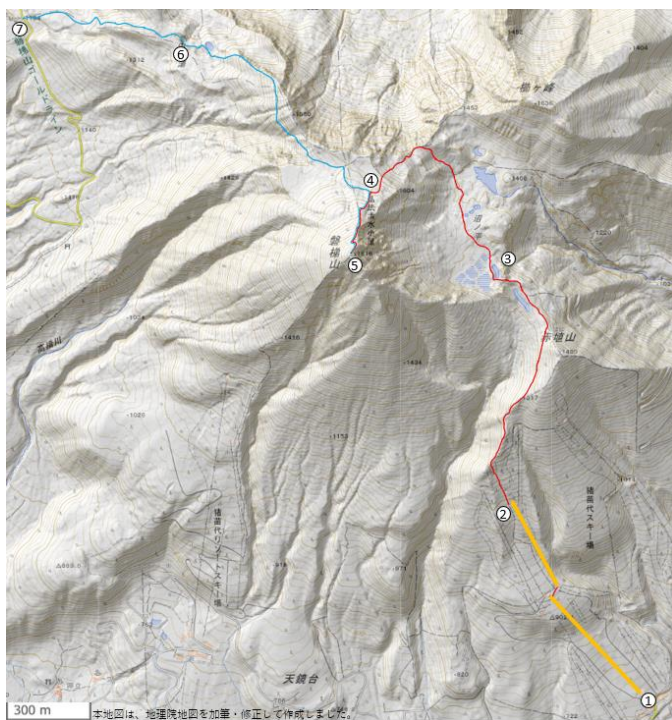
- ・グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください
- ・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。
- ・グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。
- ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、途中下山の判断と指示を出します。

	<p>【下山後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 ・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。
その他 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。 ・参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。 ・参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ・弘法清水小屋のトイレを利用する場合は携帯トイレが必要です。詳しくは、弘法清水小屋のホームページをご確認ください。 ・貸出物品の故意による破損や紛失の場合は弁償させていただきます。

②磐梯山登山（猪苗代スキー場～八方台登山口コース）

（活動時間の目安：約7時間）



概要	夏季登山リフトを利用することにより、標高 1100mまで約 30 分で進むことができます。リフト降り場から猪苗代湖を一望できるとともに、道中では岩肌がむき出しになった磐梯山の裏側を眺めることもできます。 往路（登り）と復路（下り）で見る景色が異なるため、登山の楽しさが増加します。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むとともに、心身の健康を図ります。			
条件	対象	小学5年生～	人数	20 名以上で実施可能 1 クラスに 1 名の引率者が必要
	時期	7 月～10 月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図・登山マップ <input type="checkbox"/> 方位磁針 <input type="checkbox"/> トランシーバー（研修指導員用）	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 登山計画書 <input type="checkbox"/> 非常時用簡易トイレ <input type="checkbox"/> 非常用水・非常食 <input type="checkbox"/> 携帯電話・時計		<input type="checkbox"/> デイバック <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 水筒（水 1 ℓ 以上） <input type="checkbox"/> 雨具
登山ルート	 ①第一リフト乗車口 ②第二リフト降車口 ③沼ノ平（休憩箇所） ④弘法清水（休憩箇所・山小屋と簡易トイレ有り） ⑤磐梯山山頂（休憩箇所） ⑥中の湯（火山性ガスが出ているので長居しない） ⑦八方台登山口			

引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定をします。 ・交流の家に下記4地点で連絡を行います。 (猪苗代スキー場・弘法清水小屋・頂上・下山後の八方台登山口)
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。 (学校では担任が一般的)
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。
	本部係	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下山者対応に備えます。
研修指導員の役割		<ul style="list-style-type: none"> ・活動当日の朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。 ・登山口で参加者に安全面についての説明をします。 ・活動中は道案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。 ・下山後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。
交流の家職員の役割		<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出しや回収を行います。 ・団体責任者からの連絡を受け取ります。 ・当日の朝の打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。
引率者確認事項		<p>【施設入所前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山ルートと時間配分の確認をします。登山日の活動をゆとりのある計画にしてください。 ・入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。目安は1クラスに対して指導員1名となります。 ・登山当日までに日程・登山形態（安全管理・留意事項欄参照）を計画して登山計画書（届）を2部作成します。（登山ポスト又は猪苗代警察署用に1部、交流の家用に1部） ・事前に役割分担や参加者への指導（安全指導、装備確認）などを行います。 ・活動日の天候等により登山を中止する場合は登山前日の16時まで交流の家に連絡をします。 <p>【施設入所後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の家に登山計画書（届）を1部提出します。 ・登山時の持ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文した場合は、受け渡し場所や時刻も確認します。
引率者確認事項		<p>【登山当日～登山口到着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体責任者は研修指導員と7時45分に事務室にて実施の判断をします。登山判断基準は下記表のとおりです。実施決定後に打合せを行います。

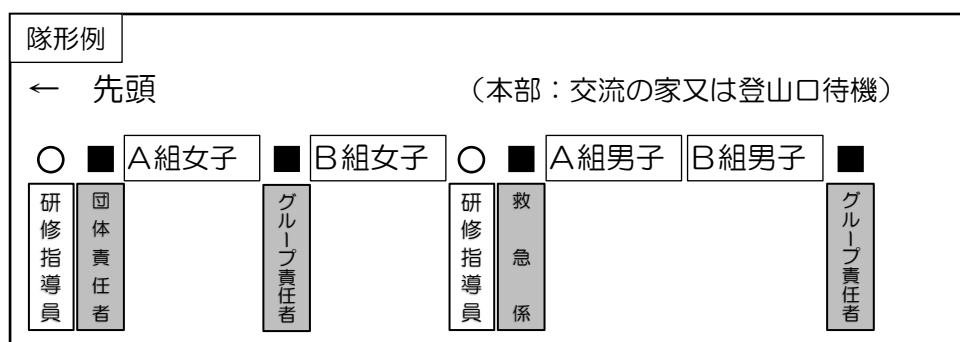
- ・判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止としています。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。

警報または 注意報	大雨	強風	雷
	大雪	暴風	噴火
降水量	5mm/h 以上		
風 速	10m/s 以上		
その他	著しく気象の変化がある		
	利用者からの中止の申し入れ		
	交流の家として中止と判断したとき		

- ・団体と研修指導員は団体の車両で猪苗代スキー場へ移動します。その後、団体の車両は八方台登山口へ移動します。
- ・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。
- ・グループ責任者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明（主に安全面について）を参加者と一緒に聞きます。

【登山中】

- ・登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名（団体責任者）～中継1名以上～後尾1名としてください。（下記例参照）

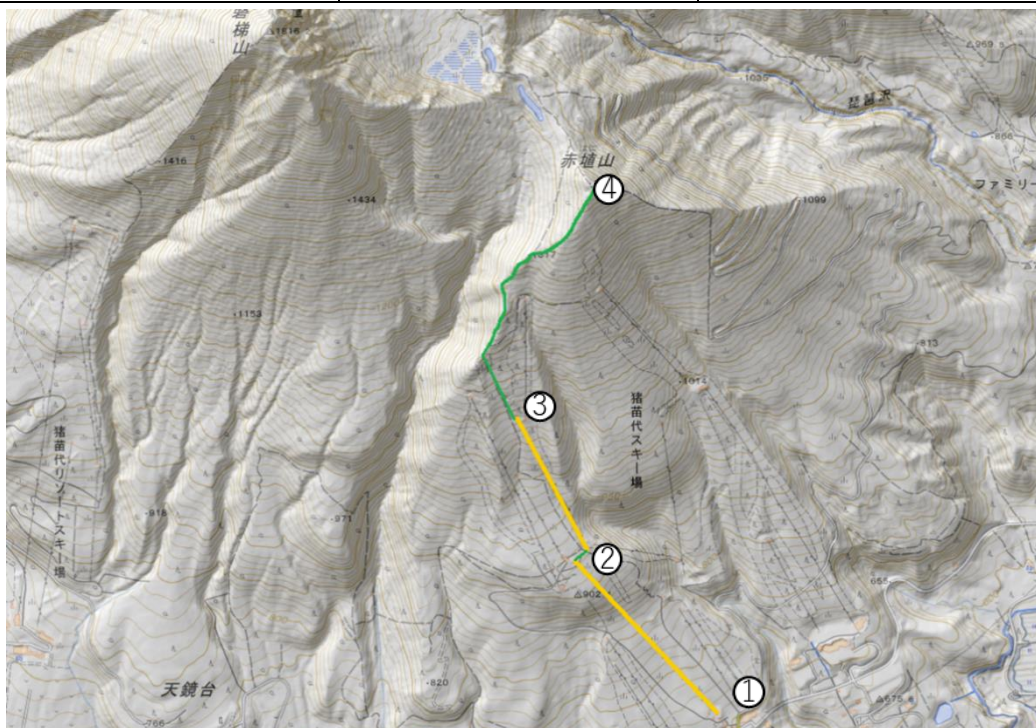


- ・グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください
- ・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。
- ・グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。
- ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、途中下山の判断と指示を出します。

	<p>【下山後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 ・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。
その他 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。 ・参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。 ・参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ・弘法清水小屋のトイレを利用する場合は携帯トイレが必要です。詳しくは、弘法清水小屋のホームページをご確認ください。 ・貸出物品の故意による破損や紛失の場合は弁償させていただきます。

③磐梯山登山（猪苗代スキー場往復コース）

(活動時間の目安：約4時間)

概要	標高 1427m の磐梯山二合目を目指すコースです。夏季登山リフトを利用することにより、標高 1100mまで 20 分、リフト降り場から磐梯山二合目まで約1 時間で進むことができます。また、下りでもリフトを利用することにより、疲れた体を癒しながら目の前に広がる猪苗代湖を楽しむことができます。			
ねらい	集団で自然体験活動をする中で生きる力や自己有用感を育むとともに、心身の健康を図ります。			
条件	対象	小学5年生～	人数	制限はないが1 クラスに1 名の引率者が必要
	時期	7月～9月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)	団体（準備物）	個人（準備物）	
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図・登山マップ <input type="checkbox"/> 方位磁針 <input type="checkbox"/> トランシーバー（研修指導員用）	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 登山計画書 <input type="checkbox"/> 非常時用簡易トイレ <input type="checkbox"/> 非常用水・非常食 <input type="checkbox"/> 携帯電話・時計	<input type="checkbox"/> デイバック <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 水筒（水1 ℓ以上） <input type="checkbox"/> 雨具	
登山ルート	<div></div> <div><p>①第一リフト乗車口</p><p>②第二リフト乗車口（トイレ有り）</p><p>③第二リフト降車口</p><p>④磐梯山二合目（休憩箇所）</p></div>			
引率者の役割	団体責任者	・研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定をします。		

		<ul style="list-style-type: none"> ・交流の家に下記3地点で連絡を行います。 (猪苗代スキー場・頂上・下山後の猪苗代スキー場)
	グループ 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。 (学校では担任が一般的)
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。
	本部係	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下山者対応に備えます。
研修指導員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・活動当日の朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。 ・登山口で参加者に安全面についての説明をします。 ・活動中は道案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。 ・下山後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。 	
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出や回収を行います。 ・団体責任者からの連絡を受け取ります。 ・当日の朝の打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。 	
引率者確認事項	<p>【施設入所前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山ルートと時間配分の確認をします。登山日の活動をゆとりのある計画にしてください。 ・入所40日前までに指導員依頼(活動日程表の提出)をします。目安は1クラスに対して指導員1名となります。 ・登山当日までに日程・登山形態(安全管理・留意事項欄参照)を計画して登山計画書(届)を2部作成します。(登山ポスト又は猪苗代警察署用に1部、交流の家用に1部) ・事前に役割分担や参加者への指導(安全指導、装備確認)などを行います。 ・活動日の天候等により登山を中止する場合は登山前日の16時までに交流の家に連絡をします。 <p>【施設入所後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の家に登山計画書(届)を1部提出します。 ・登山時の持ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文した場合は、受け渡し場所や時刻も確認します。 	

引率者確認
事項

【登山当日～登山口到着】

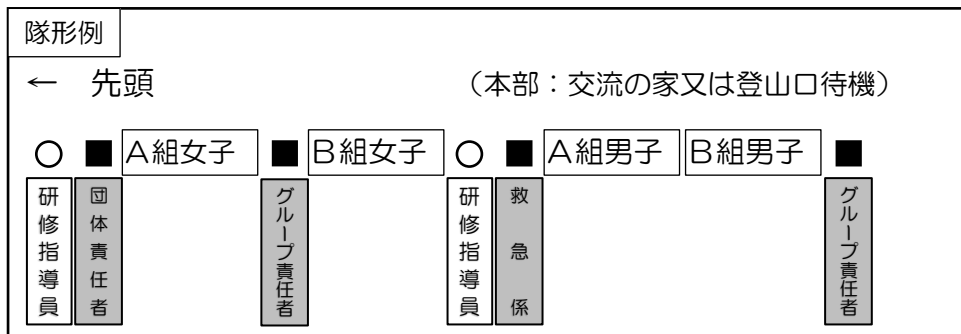
- ・団体責任者は研修指導員と7時45分に事務室にて実施の判断をします。登山判断基準は下記表のとおりです。実施決定後に打合せを行います。
- ・判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止としています。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。

警報または 注意報	大雨	強風	雷
	大雪	暴風	噴火
降水量	5mm/h 以上		
風 速	10m/s 以上		
その他	著しく気象の変化がある		
	利用者からの中止の申し入れ		
	交流の家として中止と判断したとき		

- ・団体と研修指導員は団体の車両で猪苗代スキー場に移動します。
- ・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。
- ・グループ責任者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明（主に安全面について）を参加者と一緒に聞きます。

【登山中】

- ・登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名（団体責任者）～中継1名以上～後尾1名としてください。（下記例参照）



- ・グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください
- ・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。
- ・グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。
- ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、途中下山の判断と指示を出します。

	<p>【下山後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 ・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。
その他 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。 ・参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。 ・参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ・リフト乗り場以外にトイレはありませんのでご注意ください。 ・貸出物品の故意による破損や紛失の場合は弁償していただきます。

④五色沼探勝路ハイキング

(活動時間の目安：4時間)



概要	「五色沼自然探勝路」を歩くハイキングです。磐梯山の噴火によってできた「五色沼湖沼群」を見ながら、様々な種類の植物を観察することができます。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むとともに、心身の健康を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<div><input type="checkbox"/>熊鈴</div> <div><input type="checkbox"/>地図</div> <div><input type="checkbox"/>トランシーバー（研修指導員用）</div>	<div><input type="checkbox"/>救急セット</div> <div><input type="checkbox"/>携帯電話・時計</div>		<div><input type="checkbox"/>デイバック</div> <div><input type="checkbox"/>長袖・長ズボン</div> <div><input type="checkbox"/>帽子・水筒</div> <div><input type="checkbox"/>雨具</div>
ハイキングルート	<div><div><div>五色沼自然探勝路</div><div>約4km 約2時間</div></div><div><div><div>凡例</div><div><div><div><div>P</div><div>駐車場</div></div><div><div><div>トイレ</div><div>バス停</div></div><div><div><div>看板</div><div>返却場所</div></div></div></div><div><div><div>北</div><div>長峯舟付</div><div>松原湖</div><div>裏磐梯高原駅</div><div>高瀬橋</div><div>高瀬ホテル</div><div>喜多方方面</div></div><div><div><div>五色沼自然探勝路</div><div>五色沼湖沼群</div><div>赤沼</div><div>みどり沼</div><div>弁天沼</div><div>青沼</div><div>るり沼</div><div>遠藤夢望の碑</div><div>柳沼</div><div>裏磐梯ビジターセンター</div><div>観光協会</div><div>セブノイレブ</div><div>小野川遊入口</div><div>GS</div><div>ヤマザキショップ</div><div>中ノ沢方面</div><div>アクティブリゾート</div><div>裏磐梯</div><div>宇都宮近代美術館</div><div>小野川方面</div><div>里沙門沼</div><div>磐梯山噴火記念館</div><div>磐梯湖探勝路</div></div></div></div><div>裏磐梯ビジターセンターHPより引用 https://urabandai-vc.jp/trekking/igoshiki/</div></div></div></div></div></div>			
引率者の役割	団体責任者	・研修指導員との打ち合わせ（研修指導員を依頼した場合）と実施判断・中断の決定をします。		
	グループ責任者	・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・研修指導員からの指示（研修指導員を依頼した場合）や注意事項などを参加者に伝えます。 <div>（学校では担任が一般的）</div>		
	救急係	・救急セットの携帯と応急手当をします。		
研修指導員の役割	・活動日（出発の30分前）に交流の家で団体責任者と打合せをします。 ・ハイキング開始地点で参加者に安全面についての説明をします。 ・活動中は道案内をしたり、危険個所で状況に応じた指示を出したりします。 ・活動終了後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。			

交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出しや回収を行います。 • 団体責任者からの連絡を受け取ります。 • 当日出発前の打合せ、活動後の振り返りの進行を行います。
引率者確認事項	<p>【施設入所前】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハイキングルートと時間配分の確認をします。ハイキングを行う日の活動をゆとりのある計画にしてください。 • 入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。目安は 1 クラスに対して指導員 1 名となります。 • 事前に役割分担や参加者への指導（安全指導、装備確認など）を行います。 • 活動日の天候等によりハイキングを中止する場合はハイキング前日の 16 時までに交流の家に連絡します。 <p>【施設入所後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハイキング時の持ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文した場合は、受け渡し場所や時刻も確認します。 <p>＜ハイキング当日＞</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者は実施の判断をします。実施決定後に打合せを行います。 • 団体と研修指導員は団体の車両で裏磐梯観光物産館に移動します。 • 裏磐梯観光物産館到着後に、グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 • グループ責任者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明（主に安全面について）を参加者と一緒に聞きます。 <p>【ハイキング中】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 隊形については、引率者の配置は先頭に 1 名（団体責任者）～中継 1 名以上～後尾 1 名としてください。（下記例参照） <div data-bbox="411 1267 1383 1608" data-label="Diagram"> <p>隊形例</p> <pre> graph LR subgraph Formation [隊形例] direction LR S1((○)) --- S2(■) --- A[A組女子] --- S3(■) --- B[B組女子] --- S4((○)) --- S5(■) --- C[A組男子] --- D[B組男子] --- S6(■) S1 --- R1[研修指導員] S2 --- R2[団体責任者] S3 --- R3[グループ責任者] S4 --- R4[研修指導員] S5 --- R5[救急係] S6 --- R6[グループ責任者] end Formation -- 先頭 --> S1 </pre> </div> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください • グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。 • グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。

	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。 ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、研修指導員と相談してハイキング継続か中止するかを判断します。中止する場合はグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、途中中止の判断と指示を出します。 ・団体の車両に待機場所（裏磐梯観光物産館または裏磐梯ビジターセンター（裏磐梯観光プラザ））を指示します。 <p>【ハイキング終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 ・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。
その他 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。 ・参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。 ・参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ・貸出物品の故意による破損や紛失の場合は弁償していただきます。

⑤天鏡台ハイキング

(活動時間の目安：3時間)



概要	「天鏡台（昭和の森）」という自然公園と交流の家を往復するハイキングです。猪苗代湖と磐梯山の風景を楽しむことができる活動プログラムです。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力を育むとともに、心身の健康の充実を図ります。			
条件	対象	小学3年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 時計		<input type="checkbox"/> デイバック <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 水筒
ハイキングルート				

引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。
	グループ責任者	出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 	
引率者確認事項	<p>【施設入所前】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハイキングルートと時間配分を確認します。 • 事前に役割分担や参加者への指導（安全指導、準備確認など）をします。 <p>【施設入所後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハイキング時の持ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文した場合は、受け渡し場所や時刻も確認します。 	
	<p><ハイキング当日></p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者は実施の判断をします。 • グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 • グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【ハイキング中】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 隊形については、引率者の配置は先頭に1名（団体責任者）～中継1名以上～後尾1名としてください。（下記例参照） <div data-bbox="421 1043 1388 1382" data-label="Diagram"> <p>隊形例</p> <p>← 先頭</p> <pre> graph LR A[■ 団体責任者] --> B[A組女子] B --> C[■ グループ責任者] C --> D[B組女子] D --> E[■ 救急係] E --> F[A組男子] F --> G[B組男子] G --> H[■ グループ責任者] </pre> </div> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、責任者の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください • グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、責任者どうして適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。 • グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 • グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に団体責任者へ状況を伝えて対応を協議します。 • 団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、グループ責任者と相談してハイキング継続か中止するかを判断します。中止する場合はグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合はグループ責任者と相談して、途中中止の判断と指示を出します。 	

	<p>【ハイキング終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。
その他 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は車道を歩く際は車両の往来に気を付けてください。 ・参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ・貸出物品の故意による破損や紛失の場合は弁償していただきます。

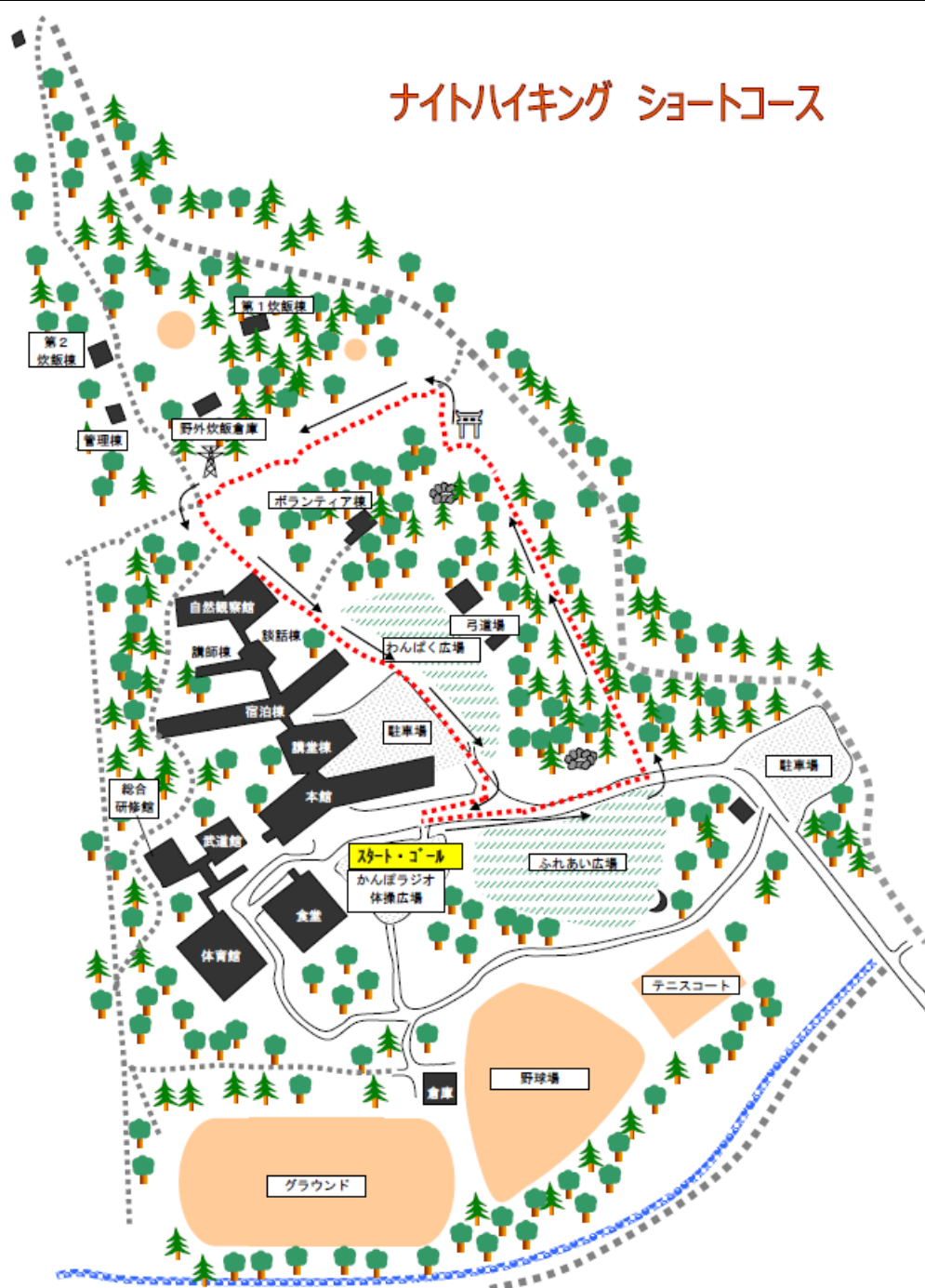
⑥ナイトハイキング

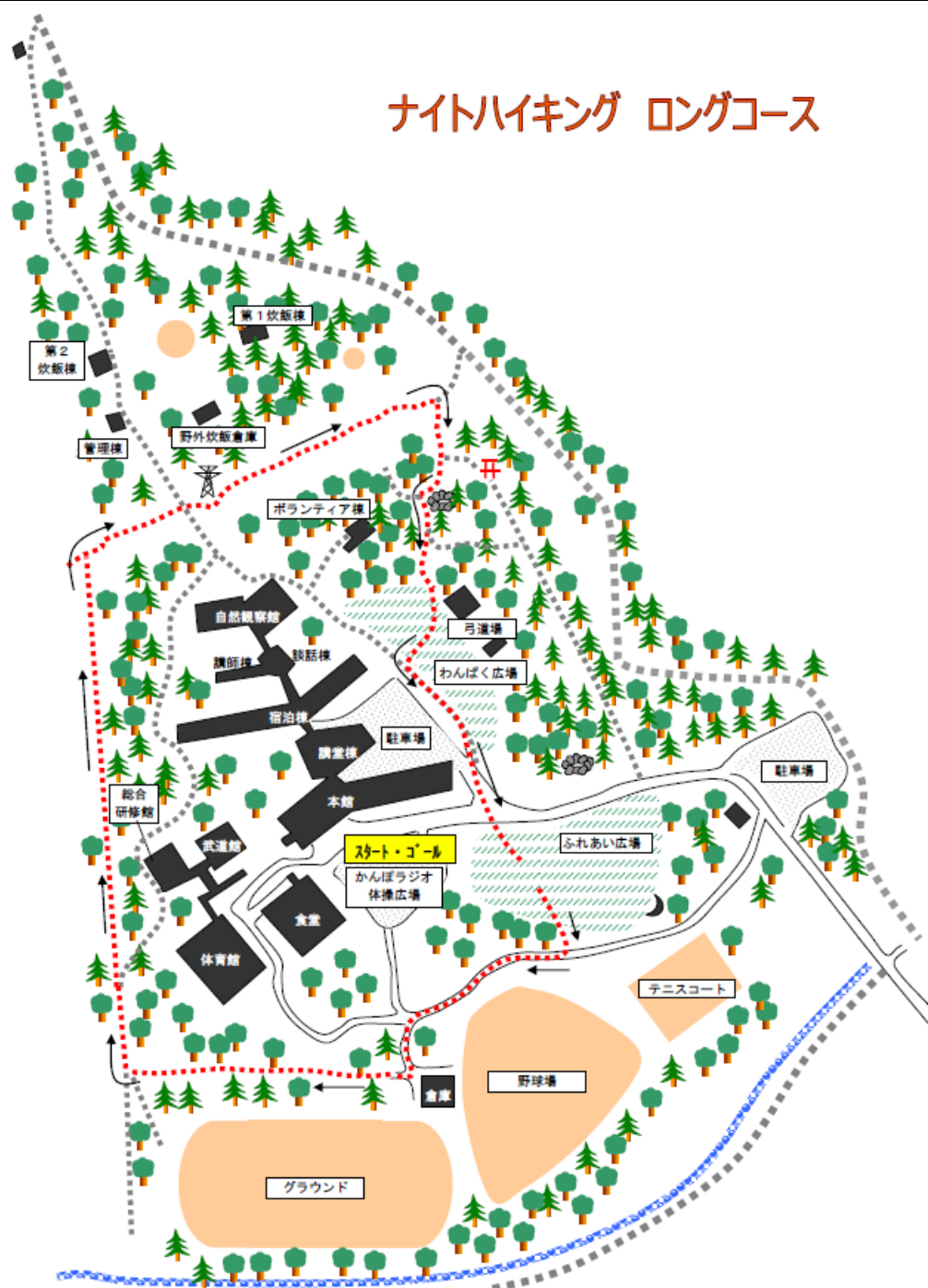


【活動時間の目安：ショート（30分）ロング（1時間）】

概要	交流の家の敷地内コースを夜間歩く活動です。視覚がさえぎられることにより視覚以外の感覚が鋭敏になり、普段気づかない「音」や「におい」、「風の流れ」などを感じることで感性を磨くことができます。コースはショート（約800m）、ロング（約2km）の2種類があります。			
ねらい	夜間に自然に親しむとともに、心身の健康の充実を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	5月～11月第1週	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）	
	□地図 □熊鈴	□救急セット	□雨具 □長袖、長ズボン □懐中電灯	

ハイキング
ルート





引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。
	グループ責任者	活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 	

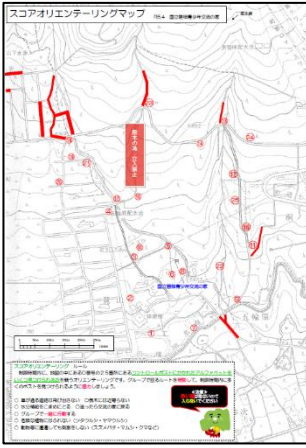

引率者確認事項	<p>【施設入所前・入所後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るいうちにハイキングルートを下見し（実際に歩き）、所要時間や危険箇所、引率者の配置場所等を確認します。（事前見学の際に下見を行うことも可能） ・ 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。
	<p>＜ハイキング当日＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体責任者は実施の判断をします。 ・ グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・ グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【ハイキング中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隊形については、引率者の配置は先頭に1名（団体責任者）～中継1名以上～後尾1名として集団で歩く方法もあります。（下記例参照） <div data-bbox="411 725 1382 1061" data-label="Diagram"> <p>隊形例</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、責任者の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください ・ グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、責任者どうして適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。 ・ 引率者は配置された場所に待機して、各グループの通過や安全確認を行います。 ・ グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ・ グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に団体責任者へ状況を伝えて対応を協議します。 ・ 団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、グループ責任者と相談してハイキング継続か中止するかを判断します。中止する場合はグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合はグループ責任者と相談して、途中中止の判断と指示を出します。 <p>【ハイキング終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・ グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。

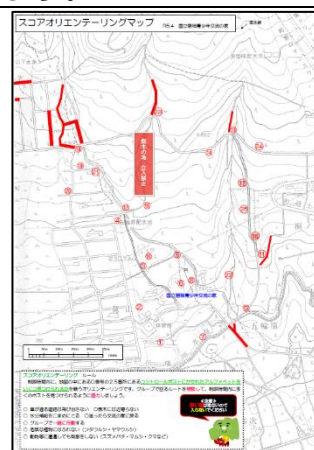
<p>その他 留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者及びグループ責任者は、参加者がコースや集団から離れないように適宜連絡を取り合ってください。 • 参加者は懐中電灯を一人1個準備してください。 • 参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 • 活動の途中で立ち止まって明かりを消し、声も音も出さない時間を作るとより自然を感じることができます。 • 貸出物品の故意による破損や紛失の場合は弁償させていただきます。
---------------------	---

⑦スコアオリエンテーリング

(活動時間の目安：2時間～3.5時間)



概要	地図に描かれた 25 個のコントロールポスト（下の写真）を歩いて探し、解答用紙には数字と対になっているアルファベットを記入します。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムです。				
ねらい	協調性の育成と心身の健康の充実を図ります。				
条件	対象	小学3年生～	人数	制限なし	
	時期	5月～11月第1週	実施判断	雷注意報時は中止	
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）	
	□オリエンテーリングセット（バインダー・手引き・地図・解答用紙） □熊鈴	□救急セット □時計		□筆記用具 □長袖、長ズボン □帽子 □雨具 □タオル □水筒	
引率者の役割	団体責任者	・実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。 ・安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。			
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 ・安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)			
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。			
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。				
活動の流れ	【活動実施前に引率者が行うこと】 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 【活動】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 ・引率者は配置された場所に待機して、各グループの通過や安全確認を行います。 【実施後】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 ・参加者は答え合わせをして得点を出します。				
					
安全管理留意事項	○引率者の配置は本部と地図の⑨⑬⑮付近にしてください。また、引率者同士で各グループの通過などの連絡を適宜取り合ってください。 ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。道が分からなくなった場合は来た道を引き返してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。				



⑧樹木オリエンテーリング

(活動時間の目安：1.5 時間～2 時間)



概要	交流の家の敷地内にある「樹木 1」～「樹木 20」までのプレートがついた樹木を「地図」を手がかりに樹木を見つけ、何の樹木なのかを当てます。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムです。			
ねらい	自然に親しみ、協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学 1 年生～	人数	制限なし
	時期	5 月～11 月第 1 週	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	□オリエンテーリング セット（バインダー・手引き・地図・ 解答用紙） □熊鈴	□救急セット □時計		□筆記用具 □長袖、長ズボン □帽子 □雨具 □タオル □水筒
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 ・安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【活動実施前に引率者が行うこと】 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 【活動】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 【実施後】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 ・参加者は答え合わせをして得点を出します。			
	<div><div>樹木 17</div><div><div>樹木 17</div><div>2025 年 5 月 17 日</div><div>交流の家（貸出物品） ・オリエンテーリングセット（バインダー・手引き・地図・解答用紙） ・熊鈴 ・救急セット ・時計 ・筆記用具 ・長袖、長ズボン ・帽子 ・雨具 ・タオル ・水筒</div><div>参加者の人数と体調の確認をします。貸出物品を参加者に渡します。安全面について指導を行い、活動を開始します。活動終了後は、参加者の人数と体調の確認をします。貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。参加者は答え合わせをして得点を出します。</div><div>樹木 17</div><div>2025 年 5 月 17 日</div><div>交流の家（貸出物品） ・オリエンテーリングセット（バインダー・手引き・地図・解答用紙） ・熊鈴 ・救急セット ・時計 ・筆記用具 ・長袖、長ズボン ・帽子 ・雨具 ・タオル ・水筒</div><div>参加者の人数と体調の確認をします。貸出物品を参加者に渡します。安全面について指導を行い、活動を開始します。活動終了後は、参加者の人数と体調の確認をします。貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。参加者は答え合わせをして得点を出します。</div></div></div>			
安全管理留意事項	○引率者は適宜コース内を巡回してください。また、引率者同士で適宜連絡を取り合ってください。 ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。また、道が分からなくなった場合は来た道を引き返してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。			


樹木 17



⑨屋外こどもオリエンテーリング

(活動時間の目安：1.5 時間～2 時間)



概要	交流の家の敷地を利用した屋外活動プログラムです。写真シートに示される 20 ヲ所のポイントがどこにあるのかを見つけて地図に記入します。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムです。			
ねらい	自然に親しみ、協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学 1 年生～	人数	制限なし
	時期	5 月～11 月第 1 週	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> オリエンテーリングセット【(バインダー・手引き・地図・解答用紙（ヒントあり・ヒントなし)）】 <input type="checkbox"/> 熊鈴	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 時計		<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 水筒
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。		
	グループ責任者	・人数の把握と健康状態の確認をします。 ・発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 ・安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【活動実施前に引率者が行うこと】 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 【活動】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 【実施後】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 ・参加者は答え合わせをして得点を知ります。			
				
安全管理留意事項	○引率者は適宜コース内を巡回してください。また、引率者同士で適宜連絡を取り合ってください。 ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。また、道が分からなくなった場合は来た道を引き返してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。			



⑩屋内こどもオリエンテーリング（初級・中級）



（活動時間の目安：1.5 時間～2 時間）


概要	交流の家館内で行なう活動プログラムです。「初級」、「中級」の写真シートに示される 20 ヲ所のポイントがどこにあるのかを見つけ、地図に記入します。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムで雨天でも活動することができます。			
ねらい	館内の各場所を知るとともに、協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学 1 年生～	人数	制限なし
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	□オリエンテーリングセット（バインダー・手引き・写真シート・解答用紙・解答）	□救急セット		□筆記用具
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 ・安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none">引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none">グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none">グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。参加者は答え合わせをして得点を知ります。			
安全管理留意事項	<p>○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。</p> <p>○参加者は交流の家館内地図の塗りつぶし箇所（立ち入り禁止場所）には入らないでください。</p> <p>○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。</p>			

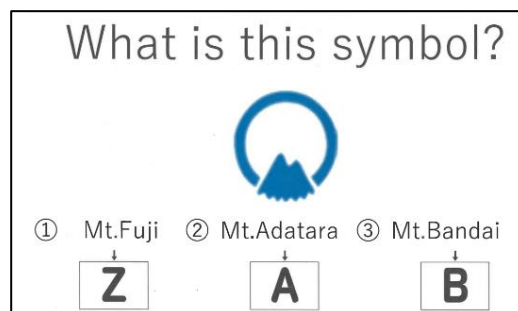


⑪イングリッシュオリエンテーリング



(活動時間の目安：1.5 時間～2 時間)

概要	交流の家館内で行なう活動プログラムです。ヒント地図を参考に英語で書かれたクイズ探して解答する活動プログラムです。問題は 20 問あり、全てのクイズに答えると最後にスペシャルクイズが1 つ現れます。			
ねらい	館内の各場所を知るとともに、協調性の育成と英語への興味・関心の向上を図ります。			
条件	対象	小学3年生～6年生	人数	制限なし
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	□オリエンテーリングセット（バインダー・手引き・ヒント図・地図・解答用紙・解答）	□救急セット		□筆記用具
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 ・安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	<div><div>【活動実施前に引率者が行うこと】</div><div>・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。</div><div>【活動】</div><div>・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。</div><div>・グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。</div><div>【実施後】</div><div>・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。</div><div>・参加者は答え合わせをして得点を知ります。</div></div> <div><div>What is this symbol?</div><div></div><div>① Mt.Fuji ② Mt.Adatara ③ Mt.Bandai</div><div><div>Z</div><div>A</div><div>B</div></div></div>			
安全管理留意事項	○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。 ○表現解答があるので、引率者は解答を事前に確認してください。 ○参加者は交流の家館内地図の塗りつぶし箇所（立ち入り禁止場所）には入らないでください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は弁償していただきます。			



⑫ばんせい探偵団

(活動時間の目安：2時間～3時間)



概要	交流の家館内で行なう活動プログラムです。館内に隠されたチェックカードを探し、謎を解く活動です。『助手』『探偵』『名探偵』の3つのレベルの解答用紙を選ぶことができます。雨天でも活動することができます。			
ねらい	グループ内でのコミュニケーションの促進と協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	□ばんせい探偵団セット（バインダー・解答用紙・手引き・地図・解答）	□救急セット		□筆記用具
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 ・安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none">引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none">グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none">グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。引率者は謎解きの採点をし、参加者に得点を伝えます。			
安全管理留意事項	<p>○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。</p> <p>○参加者は交流の家館内地図の塗りつぶし箇所以外（立ち入り禁止場所）には入らないでください。</p> <p>○貸出物品の破損・紛失の場合は弁償していただきます。</p>			

⑬野外炊飯（カレーライス・焼肉）



（活動時間の目安：3時間）

概要	仲間と協力しながら、野外炊飯棟でカレーや焼肉を作ります。			
ねらい	グループで取り組むことで協調性や計画性を養います。また、食材を無駄にすることのないように活動を行うことで、食べ物への感謝を意識させます。			
条件	対象	小学3年生～ ※夕食は中学生～大学生の教育活動に則った団体のみ対象	人数	10名～200名
	時期	5月～11月第1週	実施判断	落雷時は一時中断
準備物	交流の家（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	□食器類（6人分） （箸、スプーン、皿） □野外炊飯の道具 （かまど、羽釜、鉄板、つる鍋、包丁、ピーラー、まな板、トング、フライ返し、ざる、ボウル、しゃもじ、おたま、菜箸、耐火グローブ、火ばさみ） □食材（有料） □薪（有料）		□救急セット □ふきん・台ふきん （多めに用意する） □点火用具 （マッチやライター） □新聞紙 □クレンザー（鍋底に塗る用） □スポンジ □食器洗い用洗剤 □たわし（金たわし） □虫除けスプレー等	□長袖、長ズボン □タオル □軍手（綿100%、ゴム素材がついていないもの）
引率者の役割	団体責任者	・活動の一時中断の決定をします。また活動全体の総括、指揮、連絡をします。 ・安全の確保と事故防止のために引率者の配置を指示します。		
	グループ責任者	・活動前後の点呼を行います。 ・火や刃物を取り扱う場面での適切な管理・指導をします。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・引率者に活動場所と野外炊飯倉庫の場所と説明をします。 ・物品の貸出を行います。 ・貸出物品の返却前に点検をします。			
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・6人1班で、班を構成します。 ・6人で割り切れない場合には、1つの班のみ端数で構成できます。 （正しい例）40人の場合→6人×6班、4人×1班 （誤った例）40人の場合→6人×2班、7人×4班 ・交流の家ホームページにある野外炊飯動画を参加者に視聴させ、事前指導（安全指導・準備確認など）を行います。 ・食材や薪を購入する場合は、入所40日前までに「食事・活動物品申込書」を提出します。			


	<p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体責任者は開始時間（10 時、15 時）に野外炊飯倉庫で食材の引き渡しに立会い、用具や活動場所についての説明を受けます。 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。その後安全面について指導を行います。 ・団体責任者は活動する炊飯棟や野外炊飯倉庫、薪置き場などの場所を参加者に説明します。また、引率者にかまど置き場と薪置き場への配置を指示します。 ・引率者は薪置き場で参加者に安全に物品を渡します。（軍手着用） ・引率者は交流の家職員から包丁を受け取ります。 包丁は炊飯棟の中までかごに入れて運び、参加者に安全に渡します。 ・参加者は食器や調理器具の数を確認してから食器を洗い、調理を開始します。 ・団体責任者は検食用の検体を採取し、検食袋に入れて野外炊飯棟の冷蔵庫の所定の場所へ提出します。なお、団体で持ち込んだ食材の提出は不要です。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体責任者は点検開始 10 分前に交流の家事務室へ電話し、点検の依頼をします。（お電話を受けた 10 分後に点検を開始します。） ・参加者は使用した食器や調理器具を洗い、ふきんで水滴を拭き上げます。燃え残った炭はドラム缶の中に入れます。 ・引率者と参加者は使用した炊飯棟のテーブルや床、排水溝、トイレなどを清掃します。また、ごみは分別してごみ箱に捨てます。 ・参加者は交流の家職員による食器点検後に、食器や調理器具を返却します。返却の際は包丁庫に引率者を必ず配置してください。
安全管理 留意事項	<p>○活動は、昼食の場合は 10 時から 13 時、夕食は 15 時から 18 時までとなります。なお、活動の進行により 18 時を過ぎた場合、または点検が 18 時 30 分までに終了しなかった場合は翌日 9 時以降に点検を受けていただきます。</p> <p>○片付けについては、交流の家職員の点検を受けた後に食器や調理用具を野外炊飯倉庫の所定の位置に戻します。</p>

⑭赤べこの絵付け

(活動時間の目安：1～1.5 時間)



概要	赤く塗られた牛の張り子に、白と黒のアクリル絵の具やポスターカラーペンで模様を描く活動プログラムです。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	10 名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 赤べこ…1,200 円 <input type="checkbox"/> 筆、塗料（白と黒） <input type="checkbox"/> ポスターカラーペン <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き） <input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> ゴミ袋		<input type="checkbox"/> 汚れてもいい服装
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・実施 40 日前までに活動日程表に個数を記入して提出します。 【活動実施前に引率者が行うこと】 ・事務室で赤べこの個数を確認します。交流の家職員から活動の流れと留意事項についての説明を聞き、指導用資料を受け取ります。 ・新聞紙を活動場所に敷き、指導用資料をもとに活動の説明をします。絵の具や筆洗いバケツは5～6人で一緒に使用します。 【活動】 ・引率者は参加者に作成手順と留意点を説明します。 ・参加者は絵の具やポスターカラーペンで赤べこに絵付けをします。白色やうすい色から塗り、塗り終わったら黒色やこい色を塗ります。絵の具を変える時は筆を洗うか、一緒に絵付けをする人と筆を交換します。絵付けが終わったら 10～15 分程度その場に置いて乾燥させます。 【実施後】 ・グループ責任者は貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 ・引率者と参加者で実施場所の清掃と机・椅子などを使用前の状態に整頓します。 ・ゴミをまとめてゴミ捨て場に捨てます。			
	安全管理留意事項	○指導は引率者での実施となります。指導用資料が事前に必要な場合はご連絡ください。 ○荒天時の代替プログラムとしての計画ができます。 ○作品は当日持ち帰ることができます。		



⑮流紋焼き（絵付け）

（活動時間の目安：1.5 時間）



概要	素焼きした器に釉薬（ゆうやく）で模様を描きます。濃青、こげ茶、緑の釉薬（ゆうやく）から組み合わせて絵付けをし、作品をつくります。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	20 名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 素焼きの器 湯のみ/皿 …1,000 円 コーヒーカップ…1,100 円 マグカップ …1,700 円 <input type="checkbox"/> 筆・釉薬（ゆうやく） <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き）	<input type="checkbox"/> 特になし		<input type="checkbox"/> 汚れてもよい服装
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・ 物品の貸出や回収を行います。 ・ 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・ 入所 40 日前までに活動日程表に器の種類と個数を記入して提出します。			
	【活動実施前に引率者が行うこと】 ・ 活動場所で業者から活動の流れと留意事項についての説明を聞きます。 ・ 新聞紙を活動場所に敷いてから釉薬（ゆうやく）を置き、筆洗い用の桶に水を入れます。釉薬（ゆうやく）も桶も2～3人で一緒に使用します。 【活動】 ・ 団体責任者は業者と打ち合わせをして進行をします。 ・ 参加者は釉薬（ゆうやく）を素焼きの器に絵付けします。釉薬（ゆうやく）は混ぜずに使用します。色を変える場合は桶で筆を洗うか、一緒に絵付けをする人と筆を交換します。 ・ その場に置いて乾燥させます。（焼き上げは業者が行います。） 【実施後】 ・ 引率者と参加者で実施場所の清掃と原状復帰をします。			
安全管理留意事項	○業者が指導できない場合は実施できません。 ○荒天時の代替プログラムとしての計画ができます。 ○作成した器は業者が窯で焼き上げるため、完成までに 1～2 ヶ月程度の時間を要します。別途送料が必要です。お届け先をお知らせください。詳細については業者までお問い合わせをお願いします。 （窯元流紋焼 tel：0242-56-2221）			



⑩流紋焼き（手びねり）

（活動時間の目安：2時間）




概要	自分の手で粘土から皿やカップなど様々な形を作る体験です。形ができたら濃青、つや消し黒、緑、水色の釉薬（ゆうやく）（ゆうやく）から1色を選んで、職人の方に着色していただきます。窯の中で釉薬（ゆうやく）が溶けて流れ、種々様々な紋様が浮かび上がった作品ができあがります。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	20名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	□500g 粘土…1,500 円 □釉薬（ゆうやく）（ゆうやく） □新聞紙		□特になし	□汚れてもよい服装
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・ 物品の貸出や回収を行います。 ・ 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・ 入所 40 日前までに活動日程表に個数を記入して提出します。 【活動実施前に引率者が行うこと】 ・ 活動場所で業者から活動の流れと留意事項についての説明を聞きます。 ・ 業者の指示で新聞紙を活動場所に敷き、粘土を準備します。 【活動】 ・ 参加者は業者の指導で粘土を成形します。成形が終わったらその場に置いて乾燥させます。（焼き上げと着色は業者が行います。） 【実施後】 ・ 引率者と参加者で実施場所の清掃と原状復帰をします。			
安全管理留意事項	○業者が指導できない場合は実施できません。 ○荒天時の代替プログラムとしての計画ができます。 ○作成した器は業者が窯で焼き上げるため、完成までに1～2ヶ月程度の時間を要します。 <u>別途送料が必要です。</u> お届け先をお知らせください。詳細については業者までお問い合わせをお願いします。 （窯元流紋焼 tel：0242-56-2221）			

⑪会津漆蒔絵

(活動時間の目安：1.5 時間)



概要	漆器の表面に塗料で絵を描き、蒔絵粉を蒔いて装飾する活動プログラムです。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	10 名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	□会津漆器…1,100 円 (箸 1 膳、お椀、小皿、スプーン、れんげ) □新聞紙 □筆 □塗料 □蒔絵粉（まきえいん）		□特になし	□汚れてもよい服装
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・ 物品の貸出や回収を行います。 ・ 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 実施 40 日前までに活動日程表に漆器の種類と個数を記入して提出します。 <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事務室で漆器の種類と個数を確認し、交流の家職員から活動の流れと留意事項についての説明を聞きます。業者が指導できない場合は配付資料も受け取ります。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 団体責任者は業者と打ち合わせをして進行をします。業者が指導できない場合は、団体責任者が参加者に作成手順と留意点を説明します。・ 参加者は塗料を筆先に付けて文字や絵を描きます。塗料に息を吹きかけて乾かした後に蒔絵粉を乾いた筆に付けて、塗料の上にのせていきます。余分な蒔絵粉をきれいな布で拭き取って完成させます。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 引率者と参加者で実施場所の清掃と原状復帰をします。			
安全管理留意事項	○業者が指導できない場合は引率者の指導となります。その際は事務室にて指導用資料をお渡しします。 ○荒天時の代替プログラムとしての計画ができます。 ○塗料のにおいが強いので、換気を十分に行って活動をしてください。 ○作品は当日持ち帰ることができます。 ○安全なカシュ塗料を用いて活動します。			

⑱キャンプファイヤー

(活動時間の目安：2時間)




概要	仲間とともに炎を囲み、歌を歌ったりゲームやダンスをしたりして楽しむ活動です。			
ねらい	宿泊体験活動に向けての意気込みを固めたり、振り返ったりして、自分や仲間の良さを考えることができます。また、仲間意識を高め、協調性を養うことができます。			
条件	対象	幼児～	人数 (目安)	第 1 営火場 120 名(電源有) 第 2 営火場 50 名(電源有) 第 4 営火場 50 名(電源有) 野球場 200 名(電源有)
	時期	5月～11 月第 1 週	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> アンブ <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> 片付けセット <input type="checkbox"/> 消火用バケツ <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き）	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> 薪・トーチ棒（購入可） <input type="checkbox"/> マッチやライターなどの点火用具 <input type="checkbox"/> BGM <input type="checkbox"/> ゲーム用具		<input type="checkbox"/> 懐中電灯（シナリオによりご準備ください）
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。また、活動中の行動や火の取扱いなどの注意喚起をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・ 物品の貸出や回収を行います。 ・ 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・ 薪等を購入する場合は、入所 40 日前までに食事・活動物品申込書の物品欄に記入して提出します。 ・ 進行シナリオの作成や引率者と参加者の役割分担をします。 【活動実施前に引率者が行うこと】 ・ 実施方法（準備・片付け）を事務室にて確認します。 ・ 活動までに薪組み、物品（トーチ棒、消火用バケツなど）の準備をします。明るい時間に行うようにしてください。 【活動】 ・ 団体責任者の指示で準備してきたシナリオに沿って実施します。 【実施後】 ・ 引率者は完全消火と片付けをします。（片付けセットのマニュアルに沿って確実にいきます。） ・ グループ責任者は貸出物品をもとの場所へ返却します。			
安全管理留意事項	○火の扱いには十分に注意してください。 ○入退場時は暗闇になるので、足元などに気を付けて歩いてください。 ○破損の恐れがあるので、営火台に水をかけないでください。 ○残炭の処理は野外炊飯倉庫前の広場またはグラウンド倉庫の隣にあるドラム缶に入れて、ふたを閉めてください。			

⑬キャンドルファイヤー

(活動時間の目安：1～2時間)



概要	仲間とともにキャンドルを囲み、歌を歌ったりゲームやダンスをしたりして楽しむ活動です。				
ねらい	宿泊体験活動に向けての意気込みを固めたり、振り返ったりして、自分や仲間の良さを考えることができます。また、仲間意識を高め、協調性を養うことができます。				
条件	対象	幼児～	人数	体育館………… 300 名 総合研修館… 100 名 武道館………… 50 名	
	時期	通年	実施判断	—	
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）	
	<input type="checkbox"/> アンプ・マイク <input type="checkbox"/> しょく台 <input type="checkbox"/> 手持ちしょく台 <input type="checkbox"/> 防火シート <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き）	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> ろうそく（購入可） <input type="checkbox"/> アルミカップ <input type="checkbox"/> マッチやライターなどの点火用具 <input type="checkbox"/> BGM <input type="checkbox"/> ゲーム用具		<input type="checkbox"/> 特になし	
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。			
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。また、活動中の行動や火の取扱いなどの注意喚起をします。 (学校では担任が一般的)			
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。			
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。				
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・キャンドルを購入する場合は入所 40 日前までに食事・活動物品申込書の物品欄に記入して提出します。 ・進行シナリオの作成や引率者と参加者の役割分担をします。 【活動実施前に引率者が行うこと】 ・キャンドルファイヤーの実施方法（準備・片付け）を事務室にて確認します。 ・物品（ろうそく、しょく台、手持ち台）の準備をします。 【活動】 ・団体責任者の指示で準備してきたシナリオに沿って実施します。 【実施後】 ・引率者は完全消火と片付けをします。（片付けセットのマニュアルに沿って確実にいきます。） ・グループ責任者は貸出物品をもとの場所へ返却します。			 手持ち燭台	
	安全管理留意事項	○火の扱いには十分に注意してください。 ○活動終了後に完全に消火してください。 ○床に落ちたろうそくなどは清掃をしてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は弁償していただきます。			



②0天体観察



(活動時間の目安：1～2時間)

概要	野外で望遠鏡や双眼鏡、星座早見表を使って、月や星等を観察することができます。			
ねらい	天体や星空について学ぶことができます。また、それぞれの季節の星空の特徴に触れることができます。			
条件	対象	幼児～	人数	
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 持ち運び望遠鏡 <input type="checkbox"/> 双眼鏡 <input type="checkbox"/> 星座早見表	<input type="checkbox"/> 救急セット		<input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 防寒具（冬季）
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	・活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。また、活動中の安全面についての指導や注意喚起をします。 ・研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。（学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。指導員が手配できない場合は望遠鏡や双眼鏡の貸出のみとなります。 【活動前に引率者が行うこと】 ・貸出物品を使用する場合は事務室で受け取ります。持ち運び望遠鏡を使用する場合は、明るいうちにファインダーの調整と観察場所への移動をします。 【活動】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。確認後に貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 ・参加者は研修指導員から星空の説明を受け、天体観察をします。 【実施後】 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。			
安全管理留意事項	○参加者は季節に応じて防虫（虫よけスプレー、長袖長ズボン）や防寒をしてください。 ○参加者は懐中電灯を一人 1 個準備してください。 ○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。			

②1 そり・スノーチューブ

(活動時間の目安：任意)



概要	そりやスノーチューブに乗って積雪の斜面を滑り下りる活動プログラムです。			
ねらい	体力の向上を図ることができます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。			
条件	対象	幼児～	人数	そり（小 300 台、大 57 台） スノーチューブ（6 台）
	時期	1 月～3 月（積雪時）	実施判断	雷注意報・雷鳴時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	□そり（要事前確認） □スノーチューブ（要事前確認）		□救急セット	□長靴 □防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	・実施判断・中断の決定をします。 ・交流の家職員から安全に活動するための説明を聞きます。 ・安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・コースの試走をし、スタート位置及びゴール地点で指示をします。		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出を行います。 ・活動前に試走をしてスタート位置を決めます。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 ・返却物品の個数と破損の有無の確認をします。			
活動の流れ	【活動前に引率者が行うこと】 ・団体責任者は交流の家職員に活動の流れと安全面についての説明を聞きます。 【活動】 ・団体責任者はスタート及びゴール位置に引率者を配置します。 ・引率者は活動開始前にコースの試走をします。スピードが速い場合はスタート位置を進行方向（低い位置）に変更します。 ・グループ責任者は参加者に安全指導を行い、参加者に指示をします。 ・スタート位置に配置された引率者は安全の確認をして、参加者にスタートの合図を出します。 ・ゴール地点に配置された引率者は滑走コース上に人がいないことを確認してスタート位置の引率者に伝えます。 ・グループ責任者は職員からの事前指導で受けた安全な活動のルールを順守して活動しているかを監督します。 【実施後】 ・グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。			

安全管理 留意事項	<p>○そり、チューブは一人乗りで、立ち乗りは禁止です。</p> <p>○決められたスタート位置またはその前方から滑走を開始します。</p> <p>○滑走後は決められたルートでスタート位置に戻ります。</p> <p>○コース内に障害物（雪だるまや穴を掘るなど）を作らないでください。</p> <p>○そりは足をそり内に入れ、ドーナツ型のチューブはおしりを中心の穴に入れて活動してください。</p> <p>○活動当日に施設職員が安全点検や試走をしますが、コース状況は気候によって変化するので、引率者は必ず安全確認をしてください。</p> <p>○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償させていただきます。</p>
--------------	---

②②スノーシューハイキング



【活動時間の目安：ショート（2～3時間）ロング（3～6時間）】

概要	スノーシュー（雪に沈みにくい器具）で雪上を歩く活動プログラムです。			
ねらい	体力の向上を図ることができます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。			
条件	対象	小学4年生～	人数	スノーシュー120足
	時期	1月～3月（積雪時）	実施判断	雷注意報・雷鳴時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	□スノーシュー （要事前確認） □ヘルメット		□救急セット	□長靴 □防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	研修指導員との打ち合わせ（研修指導員を依頼した場合）と実施判断・中断の決定をします。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・研修指導員からの指示（研修指導員を依頼した場合）や注意事項などを参加者に伝えます。 <div>（学校では担任が一般的）</div>		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
研修指導員の役割	・活動開始の30分前に交流の家で団体責任者と打合せをします。 ・活動中は道案内をしたり、危険個所で状況に応じた指示を出したりします。 ・活動終了後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。			
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 ・返却物品の個数と破損の有無の確認をします。 ・当日活動前の打合せ、活動後の振り返りの進行を行います。			
活動の流れ	【活動実施前に引率者が行うこと】 ・事前にハイキングルート、所要時間、危険箇所等を確認します。 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 ・スノーシューの装着方法と返却方法を確認します。 【活動】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は安全面について指導を行い、参加者が正しくスノーシューを装着しているか確認した後に活動を開始します。 【実施後】 ・グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。			

	<p>＜研修指導員を依頼する場合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者は入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。 ・団体責任者は活動開始 30 分前に、交流の家事務室で研修指導員と打合せをします。 ・引率者は活動中に研修指導員から指示があった際は参加者全体に伝達と指導を行います。 ・団体責任者は活動終了後に交流の家事務室で研修指導員と振り返りを行います。
安全管理 留意事項	<p>○スノーシューは体格に合ったサイズを選んでください。</p> <p>○歩行中にスノーシューの留め金が外れないように調整し、しっかりと固定してください。留め具はスノーシューの外側になります。</p> <p>○スノーシューを履いて後退すると転びやすいので、後方への移動は細かく方向転換をして行ってください。</p> <p>○スノーシューの裏の金具でケガをしないように参加者同士の間隔をあけて活動してください。</p> <p>○必ずグループ単位で行動してください。</p> <p>○活動の際は、緊急用に必ず交流の家と連絡が取れるように携帯電話をお持ちください。</p> <p>○研修指導員を依頼する場合は 1 クラスに対して研修指導員 1 名が目安になります。</p> <p>○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。</p>

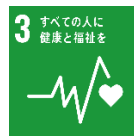
②③雪遊び



(活動時間の目安：任意)

概要	スコップもしくはシャベルを使って、雪像やかまくらづくりなどをする活動プログラムです。			
ねらい	表現のアイディアや作り方の工夫などの想像力を育みます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。			
条件	対象	幼児～	人数	制限なし
	時期	1月～3月（積雪時）	実施判断	雷注意報・雷鳴時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	□スコップ □シャベル □バケツ	□救急セット		□長靴 □防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また安全の確保のために引率者のコース配置や巡回を指示します。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・安全の確保と事故防止のための巡回をします。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 ・返却物品の個数と破損の有無の確認をします。			
活動の流れ	【活動前に引率者が行うこと】 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。貸し出し物品を使用する際は返却方法を確認します。 【活動】 ・グループ責任者は参加者に安全面について指導を行います。 ・参加者は作るものや場所などの計画を立て、活動します。 【実施後】 ・参加者は作った作品の発表を行います。 ・引率者と参加者は雪遊びで作ったものを活動終了後（その日のうちに）必ず崩して、穴などがある場合は埋めます。 ・グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。			
安全管理留意事項	○スコップやシャベルを使う際は十分に間隔をあけて活動してください。 ○除雪した雪が山積みになっている場所は、崩れやすくなっているので登らないように引率者を配置してください。 ○雪像やかまくらは水分を含んだり、気温が高くなったりすると雪が解けて崩れやすくなるため、雨天時や氷点下にならない日は十分に気を付けて活動してください。 ○かまくら内には脱出用のスコップ・シャベルを必ずおいてください。 ○貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。			

②4 ボッチャ



(活動時間の目安：任意)

概要	ニュースポーツとは年齢や性別、障がいの有無に関係なく、全員が一緒に楽しめるスポーツです。ボッチャはジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のボールをそれぞれ6球ずつ投げたり転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うスポーツです。			
ねらい	ルールを守って安全に活動する力を育みます。			
条件	対象	幼児～	人数	制限なし
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	□ボッチャセット □コート □ランプ（勾配具） □ホワイトボード		□救急セット	特になし
引率者の役割	団体責任者	・実施判断及び中断の決定をします。また活動全体の総括や指揮、連絡をします。 ・安全の確保と事故防止のために、引率者の配置を指示します。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・安全の確保と事故防止のための巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・団体全体に活動の流れとルール、安全面についての説明をします。 (17:00 まで) ・返却物品の個数と破損の有無を確認します。			
引率者確認事項	【入所前後・活動前】 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。貸出物品を使用する際は返却方法を確認します。 【活動中】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は参加者に安全面について指導を行い、活動を開始します。 【活動後】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。また、貸出物品を回収し、体育館用具室に返却します。			
安全管理留意事項	・貸出物品の故意による破損・紛失の場合は弁償していただきます。			